

(3) 地域の各団体・活動主体の状況

① 地域活動協議会・地域社協・地域振興会（連合町会）など

区内には、概ね小学校区を単位として、14の地域活動協議会や地域社会福祉協議会（地域社協）、町会（地域振興会・連合町会）が組織されており、住民の親睦や交流を図るため、運動会や盆踊り、餅つき大会などの行事・イベントをはじめ、ふれあい喫茶や高齢者食事サービス、子育てサロン、防犯活動や防災活動、環境美化などの取り組みが行われています。

また、各地域には女性会や子ども会なども組織されており、団体独自の活動や他の団体との共同事業などが展開されています。

② 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談者として、区民の立場に立って日常生活に関するさまざまな相談に応じ、必要な支援を行っています。また、地域の相談窓口として、区民の人権やプライバシーに配慮しつつ、住民の実態把握や関係する会議への出席、訪問活動などに取り組んでいます。

西淀川区では、令和元年12月に139人が委嘱されており、このうち、子どもに関する問題を専門的に担当する主任児童委員は23人となっています。

これらの委員全員で、民生委員・児童委員協議会が組織されており、情報交換や研修など活動強化のための取り組みが行われています。

③ ボランティア活動・NPO活動

区民の自主的・主体的なボランティア活動は、子ども・子育て支援活動、地域の美化清掃活動をはじめ、手話や点訳、音訳などの専門的な技術や技能を必要とするものまでさまざまな活動が個人あるいはグループで行われています。

区社協が運営するボランティア・市民活動センターには、令和元年度末において42のグループと220人の個人が登録されています。

NPOとは、Non-Profit Organization（非営利組織）の略称で、保健・医療・福祉、環境、文化・芸術、スポーツ、まちづくり、国際協力・交流、人権・平和、社会教育、男女共同参画社会などの特定分野に関する営利を目的としない団体の総称です。また、市民活動・住民活動の発展形として、NPO法（特定非営利活動促進法）に基づく法人格を有し、多様な社会貢献活動を行っています。令和元年11月現在、区で事業を展開しているNPO法人は25法人です。（区内に主たる事務所：23法人、区外に主たる事務所：2法人）

④ ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターは、子育てを援助してほしい方（依頼会員）と、子育てを援助できる方（提供会員）がお互いに信頼関係を築きながら、子どもを預けたり、預かったりする子育て援助活動です。「依頼会員」は、市内在住で、おおむね

生後3か月から10歳未満のお子さんがある方、「提供会員」は、区内在住で自宅において子どもを預かることのできる方です。

西淀川区における事業運営は区社協が行っており、令和元年度末の登録会員数は165人（依頼会員：109人、提供会員：46人、両方登録：10人）となっています。

⑤ 老人クラブ

老人クラブは、概ね60歳以上の人で各地域ごとに組織され、ゲートボールやグラウンド・ゴルフ、カラオケ、友愛訪問、公園美化清掃などさまざまな活動を展開しています。

また、各地域の老人クラブの参画により「西淀川区老人クラブ連合会」を組織され、老人福祉センターなどを拠点に、健康づくり活動、友愛活動、奉仕活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。令和元年11月1日現在、区内で16の単位老人クラブが組織され、登録会員数は約1,200人となっています。

《コラム・豆知識》

◇主なリボン運動

イエローリボン……障がいを持つ人たちの自立と社会参加をめざす、「障害者自立支援法」への警告



パープルリボン……女性への暴力の根絶を訴える運動のシンボルマーク

オレンジリボン……児童虐待防止運動のシンボルマーク

ピンクリボン……乳ガンの早期発見・早期診断・早期治療の大切さをアピール

ティールアンドホワイトリボン……子宮頸がん啓発のシンボルマーク

レッドリボン……エイズ患者を差別せず、共に生き、応援していく意志を表す

グリーンリボン……移植医療普及のためのシンボル

ブルー（濃紺）リボン……大腸ガンの啓発活動のシンボル

ブルーリボン……北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じての意思表示

ホワイトリボン……開発途上国における妊産婦の命と健康を守る国際的活動のシンボル、DV（家庭内暴力）で命を落とした女性への追悼と非暴力の意志 など

(4) 西淀川区における課題

西淀川区の各地域における福祉課題や地域福祉活動の状況などを把握するため、平成29年11月から30年の3月にかけて、「西淀川区における地域活動に関するアンケート調査」を実施しました。また、このアンケート結果を元に、地域ごとの課題や今後の方策などを検討するため、平成30年12月から「意見交換会～“にしよど『縁活』プロジェクトGo!Go!Go!”～」を開催しました。

① 「西淀川区における地域活動に関するアンケート調査」の結果

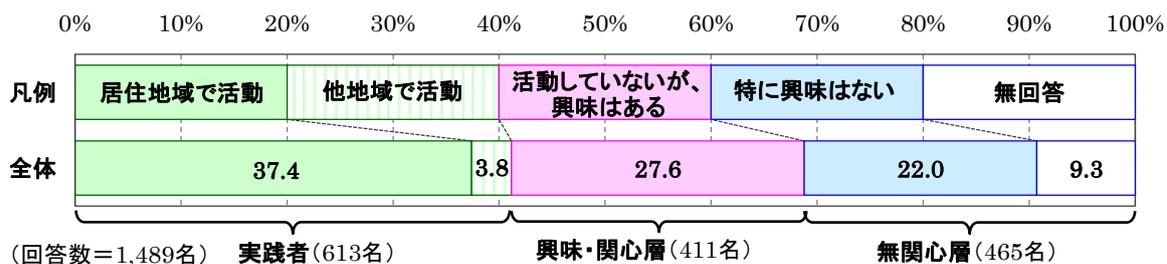
《アンケートの実施概要》

- ・調査目的：区内の地域活動や地域課題などの把握
- ・実施時期：平成29年11月～30年3月
- ・調査対象：地域活動者や集合住宅住民、ボランティア登録者、市民活動団体など
- ・調査数：5,130名（回収数1,489名、回収率29.0%）
- ・調査方法：配布＝手渡し・ポスティングなど、回収＝郵送・持参

《アンケート回答者の属性》

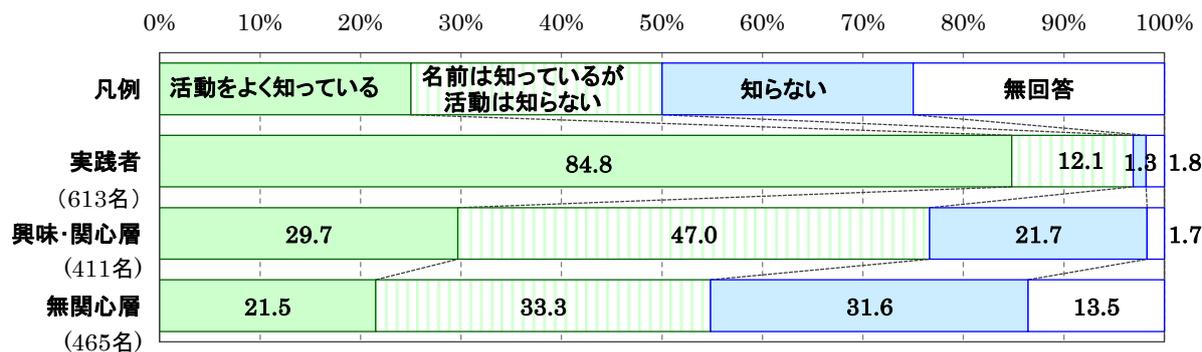
- ・女性が60.0%、男性が18.9%。
- ・年齢は70歳代が28.4%、60歳代が16.2%、40歳代が15.0%。
- ・「親・子／親・子・孫」の家族が47.1%、「夫婦のみの世帯」が25.0%、「ひとり暮らし」が19.1%。
- ・「町会に加入している」は81.4%。
- ・職業は「無職・休職中」が35.9%、「就業中」が19.5%、「パートタイム」が15.4%。

《地域活動などの実践状況》



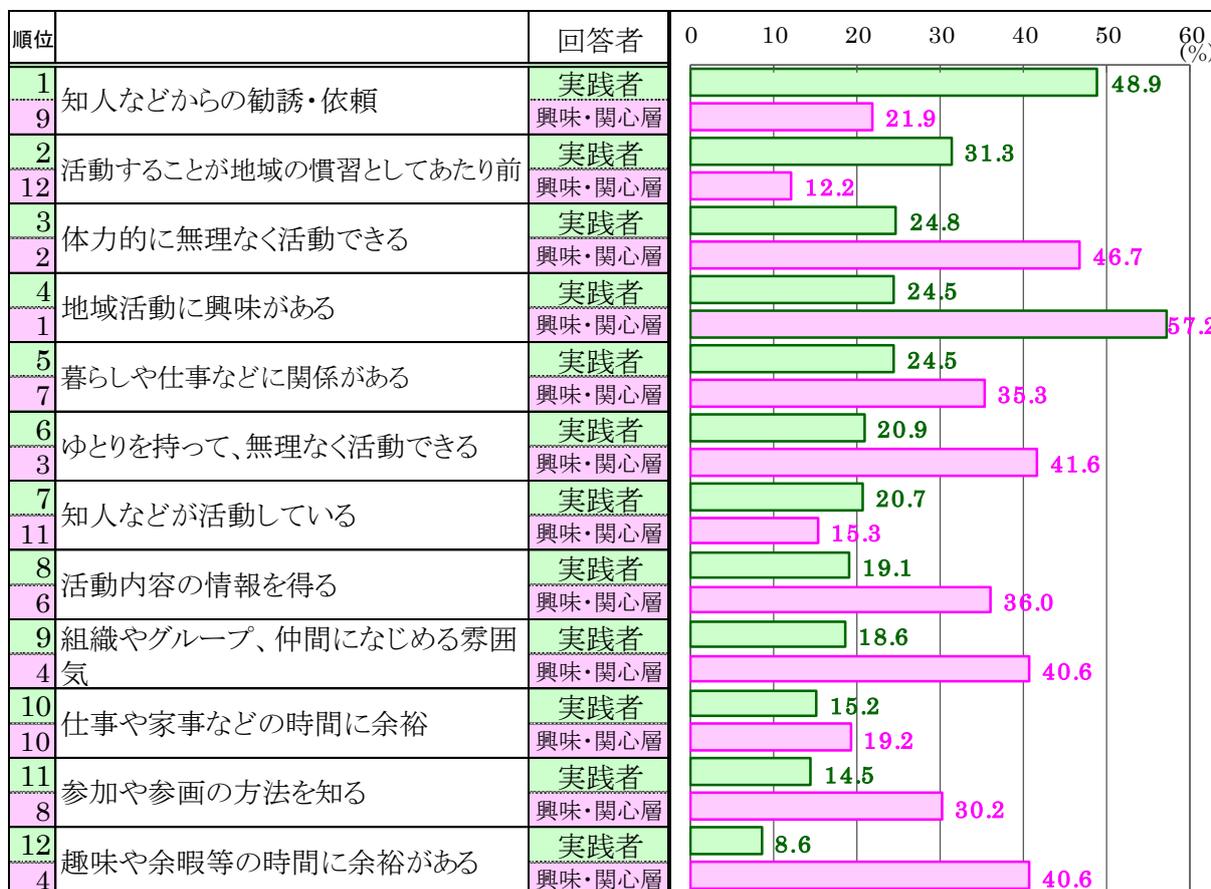
- ・地域団体の活動は、「活動している」（地域活動者）が41.2%、「活動していないが、興味はある」（興味ある人）が27.6%、「特に興味はない」と「無回答」が合わせて（無関心層）が31.2%。

《地域活動の認知度》



・地域活動は、『地域活動者』が「活動をよく知っている」が84.8%であり、『興味ある人』や『無関心層』は2割～3割程度となっている。

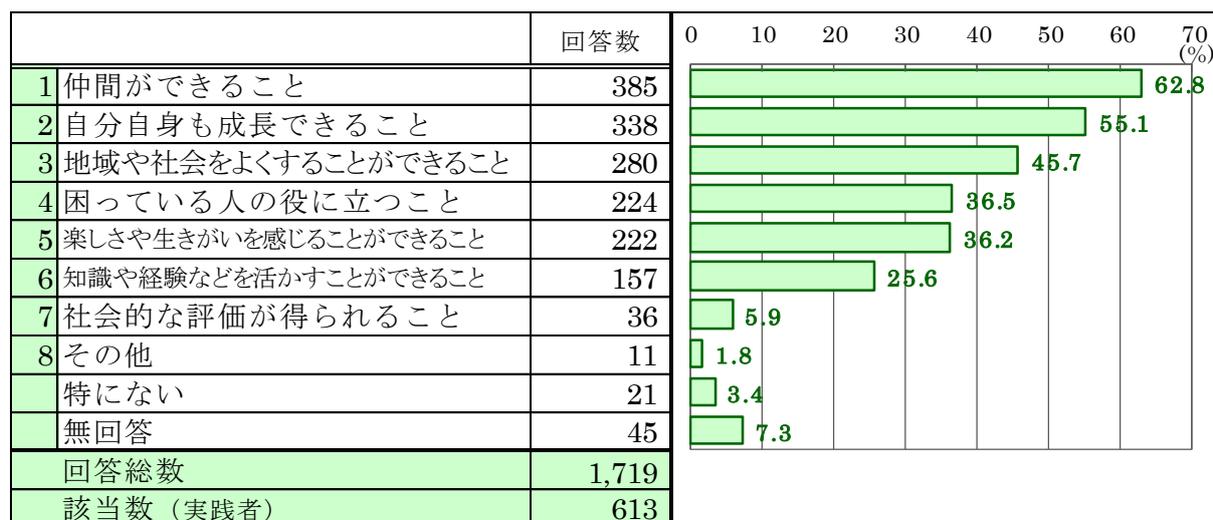
《地域活動をはじめた理由・きっかけ【複数回答】》



(回答数：実践者＝613名、興味・関心層＝411名)

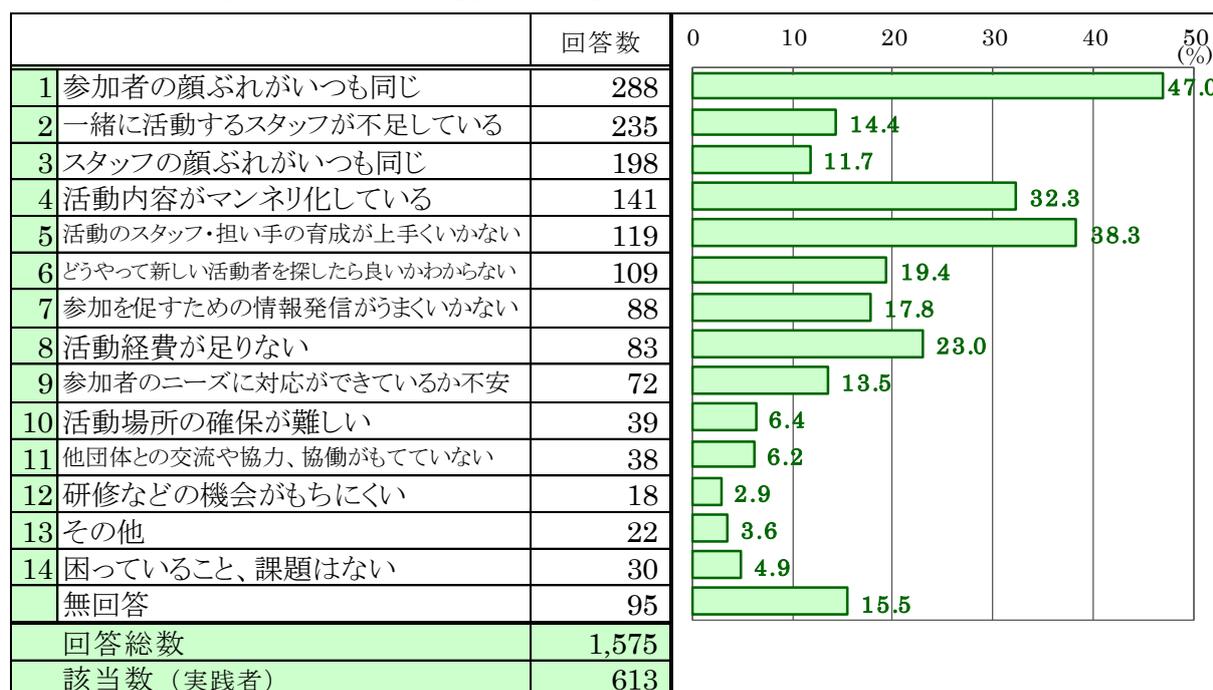
・地域活動をはじめた（はじめる）理由・きっかけとして、『地域活動者』が「知人などから誘われた、頼まれたから」が最も多く、一方、『興味ある人』は、「興味がもてる活動があること」が最も多く、「知人などから誘われたり、頼まれること」は少なくなっている。

《地域活動の魅力【複数回答】》



- ・『地域活動者』が考える地域活動の魅力は、「仲間ができること」「自分自身も成長できること」が半数を超えている。

《地域活動で困っていること【複数回答】》



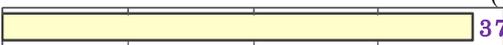
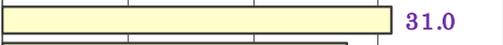
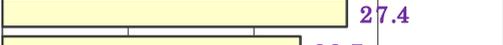
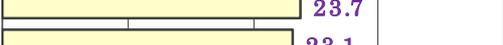
- ・『地域活動者』が地域活動で困っていることは、「参加者の顔ぶれがいつも同じ」「一緒に活動するスタッフが不足している」「スタッフの顔ぶれがいつも同じ」といった参加者やスタッフが同じことなど、「新たな担い手不足」「参加者の固定化」があげられている。

《地域で優先的に取り組んでほしい「対象」／機会があれば取り組みたい「対象」【複数回答】》

		優先的に取り組んでほしい対象		取り組みたい対象	
1	高齢者	820	55.1	227	15.2
2	児童、子育て家庭	497	33.4	211	14.2
3	障がい児・者	444	29.8	140	9.4
4	ひとり親家庭(母子家庭、父子家庭)	380	25.5	120	8.1
5	貧困層、生活困窮者	258	17.3	61	4.1
6	低所得者、フリーターなど	177	11.9	38	2.6
7	在住外国人	101	6.8	57	3.8
8	路上生活者	88	5.9	22	1.5
9	特にない	108	7.3	118	7.9
	無回答	212	14.2	871	58.5
回答総数		3,085	207.2	1,865	125.3
全体		1,489	100.0	1,489	100.0

- ・地域で優先的に取り組んでほしい『対象』や機会があれば取り組みたい『対象』は、ともに「高齢者」が最も多く、次いで「児童、子育て家庭」「障がい児・者」などとなっている。

《西淀川区で今後充実すれば良いと思うこと【複数回答】》

		回答数	0 10 20 30 40 (%)				
1	話し合える場づくり、誰もが活躍できる場づくり	558					
2	活動の情報の充実	462					
3	地域で活動できる新たな人材の発見や育成	408					
4	お互いに関心を持ち、お節介ができる関係づくり	353					
5	区民、団体、企業、NPO等とつながりを深める	344					
6	その他	43					
	無回答	231					
回答総数		2,399					
全体		1,489					

- ・西淀川区で今後充実すれば良いと思うことは、「地域のことを話し合える場づくり、誰もが活躍できる場づくり」「活動の情報の充実」「地域で活動できる新たな人材の発見や育成」などがあげられている。

《地域で優先的に取り組んでほしい「テーマ」／機会があれば取り組みたい「テーマ」【複数回答】》

		優先的に取り組んでほしいテーマ		取り組みたいテーマ	
1	防災の意識を高めたり日常的に備えること	510	34.3	222	14.9
2	地域で孤立しがちな人への支援	503	33.8	166	11.1
3	災害時に支援が必要な人の把握や支援	474	31.8	164	11.0
4	世代を超えたつながりや交流	444	29.8	175	11.8
5	支援が必要な人を発見したり地域で支えること	401	26.9	147	9.9
6	マンションなど集合住宅内でのつながり(づくり)	303	20.3	112	7.5
7	団塊の世代などが地域に参加できるようにすること	286	19.2	88	5.9
8	地域や福祉、地域活動について学ぶ活動	262	17.6	126	8.5
9	地域団体、商店、企業、学校、NPO、専門機関等、様々な組織の連携・協働	178	12.0	77	5.2
10	ICT を活用した地域づくり	122	8.2	67	4.5
11	収益をあげたり有償にするなど、ビジネス的な考えを取り入れた活動	97	6.5	58	3.9
12	特になし	93	6.2	91	6.1
	無回答	230	15.4	773	51.9
回答総数		3,903	262.1	2,266	152.2
全体		1,489	100.0	1,489	100.0

・地域で優先的に取り組んでほしい『テーマ』や機会があれば取り組みたい『テーマ』は、ともに「防災の意識を高めたり日常的に備えること」が最も多くなっている。地域で優先的に取り組んでほしい『テーマ』の第2位は、「地域で孤立しがちな人への支援」「災害時に支援が必要な人の把握や支援」となっており、機会があれば取り組みたいは「世代を超えたつながりや交流」「地域で孤立しがちな人への支援」となっている。

② 意見交換会～“にしよど『縁活』プロジェクトGo!Go!Go!”～の結果

《意見交換会の実施概要》

- ・開催目的：地域ごとの課題と解決方策の検討
- ・実施時期：平成30年12月～令和元年12月
- ・開催地域：10地域
- ・参加者数：157名
- ・テーマ：『新しい担い手との知り合い方を考えよう』

5～9名にわかれて、テーマに沿って「一緒に活動したい人」「出会いや活動の場面」「出会いの方法やきっかけ」「具体的な方法(提案)」について意見交換を行いました。(詳細は資料編(P31)を参照してください。)